

学校評価趣意書

令和 4 年 4 月 22 日
尾道市立浦崎小学校

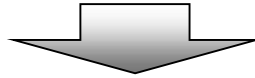
1 学校内外の状況

児童は保育所（認定こども園）からほぼ同一の小集団（20名弱）で育っている。固定化された人間関係にとらわれていることが多くある。横並び意識が強く、自分の考えを表現し、それを実現しようとコミュニケーションすることや、周囲をリードし、導いていこうとする姿勢が不十分であることが大きな課題である。また、授業においても、友達同士のかかわりの中で意見を練り合い、より優れた考えに昇華していこうとすることができにくい実態である。指導者の指示には素直に従い、真面目に努力する態度はあり、繰り返し練習に等の基礎的な学習に真面目に取り組むことができる。しかし、各種学力調査の結果を見ると、低学年の基礎的な学力、また、ほぼ全学年で読解力や論理的な思考力・表現力に課題が見られる。

地域・保護者は学校に対して協力的であり、スポーツや神楽などの指導も伝統的に受け継がれ熱心に行われている。こうした面での熱心な地域であるが、子供に対しては支配的なところも見られ、そのためか、児童は自律的な規範意識よりも、周りの状況を見て、行動を制御している面がある。自分の考えを持たせること、正しい判断力を身につけ、自信を持って発言や行動できるようにすることが課題である。

教職員集団は概して熱心であり、目的に向かって協働して取り組む気風がある。しかし、ベテラン層が少なく、経験年数4年未満の職員が多く指導力に課題が見られる。

以上のことから、自分の未来を拓き、浦崎地域・社会に貢献する基盤を創るため、義務教育終了までの浦崎15年間の教育について、認定こども園・小学校・中学校が共通の目標を設定して取り組み、ふるさとを愛する心を養うとともに、社会で堂々と活躍できる子どもの育成を進めていきたい。



2 ミッション

スクールミッション

「オール浦崎」で取り組む キャリア教育の充実による 主体的な学びの実現

「**心**と**こ**え いろいろト**こ**い **こ**わやかな挨拶
こもちの良い学校」の実現

3 ビジョン

自分への自信と学校への誇り、ふるさとへの愛着を持った児童が育つ、地域・保護者から信頼される学校。

4 重点課題

主体性を持ち、知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成（中学校区で統一）

- ① 園・中と連携して課題を焦点化し、児童の学力の向上をはかる。（主体性）
- ② 授業改善による学力の向上をはかる。（思考力・表現力）
- ③ 浦崎15年教連携育を推進し、児童・生徒の自己肯定感を高める。（かかわり）
- ④ 連携教育・学校運営協議会を基盤にかかわりあう集団にする。（かかわり）